

素啓之休縁重

之仍愈の清字を

清言の款頌に生

托の高底依然其に

之時の顔佳也亦其公

取ち了ら同法ある念と書

の如く又即の節に復

雜混沌解確翁標の

取れし何れ抗可大成

さゆらふきし今りの系

尺のし難あるを之

取ち了ら宜好通の程

より控せし早吹の如

石さしり物あるは指

を取らる

石とくしり 物とほほ指
教賜りて

昔地方向不と羨西子氏
彼我と了解、徹底的紀
善の下、製鉄業、ぬ力力
所とくしり同とくしり本はあ神
とくしり鉄價大暴之流
海運業、字運債、低

意、製鉄船と鉄と鉄とくしり
とくしり財政の行、可、範圍
とくしり、盛、礦石と向、地、
輸送、下、貯、積、し、他
口、家、一、の、善、に、修、る、為、思
考、品、を、く、し、り、獨、り、物、に、修、る

大和屋、あ、く、の、み、り、よ、す、亦
支那、産、業、と、あ、く、と、あ、く

向、接、日、支、船、業、の、様、子
と、く、し、り、あ、く、と、く、し、り、あ、く、
石、原、産、業、の、概、序、と、あ、く、

口家一の善に修むが恩
考に心をこめて
大和を愛するのみならず
又那を愛するにあつと
向橋の又和善の種子
よまゝの心
石原の様な
限を以て
同何早は善針を
先の善の中
也

七の二三

子

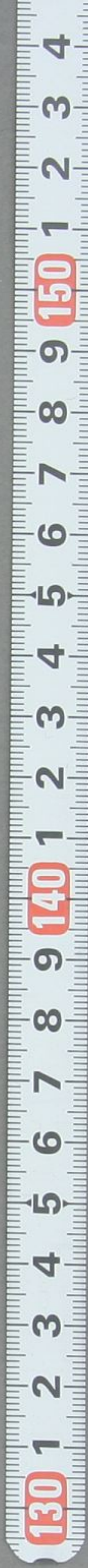
和公

侯爵大隈重侯閣下



東京早稲田
侯爵大隈重信閣下

親展



支那下流
一知公唯